

今後も担い手確保に向けた取り組みを

第 56 回通常総会を開催

組合の第 56 回通常総会が 5 月 9 日、大阪市北区のリーガロイヤルホテルで開催され、平成 28 年度の事業・収支決算報告や 29 年度の事業計画・収支予算などを承認しました。当日の総会には会員企業の代表をはじめ賛助会員ら約 100 人が出席しました。

岩田理事長は冒頭の挨拶で、昨年度の組合の事業活動を振り返りながら「今年 2 月に大阪府の認定職業訓練を取得できたのは、建設技術展への出展や出前講座の開催などこれまでの地道な活動が評価された成果だと思っている。今後も若年者を中心にモノづくりの魅力を伝える取り組みを積極的に展開し、職人の処遇改善とともに将来の担い手確保に向けて皆さんと力を合わせて頑張っていきたい」と述べました。

新年度の事業活動では、会員企業の経営基盤の安定・強化を図るとともに、若者が将来を託せる魅力ある鉄筋工事業界の構築に向けた取り組みを基本方針とし、合同・単独の出前講座開催や外国人技能実習生の受入事業、登録鉄筋基幹技能者講習、鉄筋技能士検定試験、発注機関や関係団体との情報交換などを実施していきます。

青年部が第 25 回通常総会を開催

組合青年部の第 25 回通常総会が組合の総会に先立って開催され、平成 28 年度の事業報告・収支決算や 29 年度の事業計画・収支予算などを承認されるとともに、今村部長の再任を決めました。新年度の主な事業は講習会・研修会の開催や全鉄筋青年部全国会議への傘下など。また、加入資格を「将来の経営者候補」とする定款改正を踏まえた部員の拡充に取り組む方針などを確認しました。親組合の総会で今村部長は「青年部の活性化に向けて今後も活動していきたい」と挨拶しました。

